

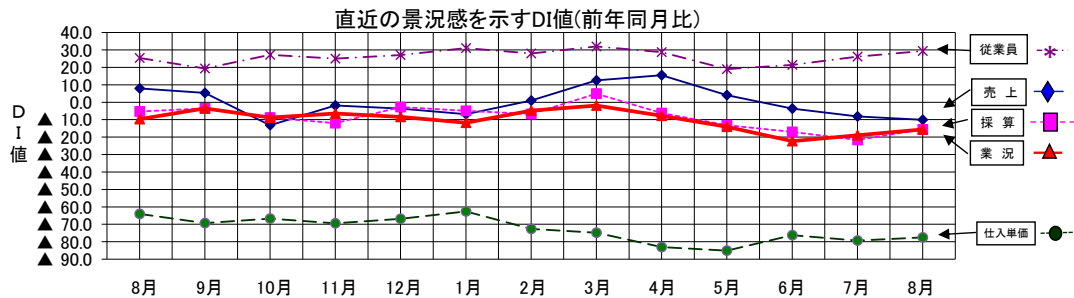
【8月の概要】

直近の採算・業況は改善するも先行きは悪化
コスト高と人件費負担が継続

直近の景況感を示すDI値では、「採算DI」が前月の▲21.6から▲14.8へプラス6.8ポイント、「業況DI」が▲18.9から▲14.8へプラス4.1ポイント、それぞれマイナス幅が縮小した。「仕入単価DI」は▲79.3から▲77.3へマイナス幅がわずかに縮小したものの、依然として大きなマイナス値が続いている。「従業員DI」は26.1から29.6へ上昇し、人手不足感が強まった。

向こう3か月間の先行き見通しでは、「売上DI」が前月の6.3から▲3.7へマイナス10.0ポイントと大幅に低下し、マイナス圏に転じた。「採算DI」は▲10.8から▲13.9へ、「業況DI」は▲12.6から▲13.0へマイナス幅が拡大した。「仕入単価DI」は▲64.9から▲56.5へマイナス幅が縮小した。「従業員DI」は27.9から25.0へ低下し、人手不足感がやや弱まる見通しにある。

コメントでは、円安や中東情勢などを背景とした原材料・包材の値上げを指摘する声が多く、価格転嫁が追い付いていないとする声もみられた。最低賃金の引き上げに伴う人件費負担の増加を課題として挙げる声も寄せられている。また、酷暑による熱中症の発生や購買意欲の低下を指摘する声がある一方、プレミアム付商品券事業による消費の押し上げや、防災関連の需要を見込む声もみられた。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数: Diffusion Index の略)＝(良い割合)－(悪い割合)
※従業員＝(不足)－(過剰)

	2025年 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2026年 8月
売上	7.9	5.3	▲13.2	▲1.9	▲3.7	▲6.8	1.0	12.6	15.5	4.1	▲3.6	▲8.1	▲10.1
採算	▲5.3	▲3.5	▲8.8	▲12.0	▲2.8	▲4.9	▲6.7	4.9	▲6.2	▲13.2	▲17.0	▲21.6	▲15.6
業況	▲9.7	▲3.5	▲8.8	▲6.5	▲8.4	▲11.7	▲4.8	▲1.9	▲7.8	▲14.1	▲22.3	▲18.9	▲15.6
仕入単価	▲64.0	▲69.3	▲66.7	▲69.4	▲66.8	▲62.6	▲72.6	▲74.8	▲83.0	▲85.1	▲76.3	▲79.3	▲77.5
従業員	25.4	19.3	27.2	25.0	27.1	31.1	27.9	32.0	28.7	19.0	21.4	26.1	29.4

- ・前月比でマイナス幅が減少（改善）したDI値：採算+6.8ポイント、業況+4.1ポイント、仕入単価+2.0ポイント
- ・前月比でマイナス幅が増加（悪化）したDI値：売上▲1.2ポイント
- ・前月比でプラス幅が増加（悪化）したDI値：従業員+3.5ポイント（人手不足感が強まった）

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月回答	▲9.8	▲25.0	▲23.2	▲67.0	19.6
7月回答	6.3	▲10.8	▲12.6	▲64.9	27.9
8月回答	▲4.6	▲14.7	▲13.8	▲56.9	24.8

- ・前月比で見通しが改善したDI値：仕入単価+8.4ポイント、従業員▲2.9ポイント（人手不足感が弱まった）
- ・前月比で見通しが悪化したDI値：売上▲10.0ポイント、採算▲3.1ポイント、業況▲0.4ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木・建築	対策は講じているものの、酷暑もあり、少数ながら熱中症が発生している。来期に向けた土木系の新卒応募も減っており厳しい。
	電力メンテナンス	原材料高騰、納期遅れ、人材不足と採用に伴う費用増など様々な課題があり、業績に影響がある。ただし、企業努力により採算は確保できている。
製造業	菓子	円安による輸入原材料の値上げが厳しいうえ、ホルムズ海峡封鎖の影響による包材関係の値上げ幅が大きく（30%）、価格転嫁が追い付かない。最低賃金の上昇による人件費の増加もあり、経営上の不安がある。
	自動車	政策金利の引き上げ観測が強まるなか、設備投資や個人消費の減速による景気への影響を懸念している。最低賃金の引き上げによる人件費負担の増加もあり、人材確保と収益確保の両立が課題となっている。
小売業	パン	仕入コストの上昇により採算が悪化している。コスト上昇分の価格転嫁までは実施できていない。猛暑による購買意欲の低下も売上低下の一因と考えられる。
	ホームセンター	紙類など日用消耗品のまとめ買いは落ち着いているが、建築資材等は価格高騰や供給の懸念から需要の高い状況が続いている。エアコンの2027年問題に伴う駆け込みが見込まれるほか、防災需要の高まりも想定される。
サービス業	飲食	新潟県のGo To Eat食事券や新潟市デジタル商品券などの事業により、消費が上振れし、活発化している。
	貨物運送	収入は順調に伸びているが、コスト増の影響で採算はなかなか向上しない。人員不足も相まって、厳しい状況が続くものと思われる。

※本コメントは、調査結果の一部を編集・要約したものです。内容の趣旨を損なわない範囲で表現の調整を行っています。

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分 各業界からのコメント

建設業
対策は講じているも、酷暑もあり、少数ながら熱中症は発生している。来期に向けた土木系の新卒応募の数が減っており厳しい。今年の物流効率化法改正に伴い、今後建材荷主として現場における物流業者に配慮した一層の取組みが必要。
原材料高騰、納期遅れ、人材不足と採用に伴う費用増等、様々な課題があり、業績に影響がある。 ただ企業努力により採算は確保できている。
製造業
円安による、輸入原材料の値上げが厳しいうえ、ホルムズ海峡封鎖による包材関係の値上げ幅が大きく（30％）価格転嫁が追いつかない。 このまま円安が続き原材料の高騰と、最低賃金の上昇による人件費アップ、そしてこの先燃料費の高騰による物流費の値上げ等の影響がどの程度になるのか？経営上不安になる。
この夏の猛暑もあり従業員の体調には気を使っています。こまめな休憩、空調服等の供与、飲み物、タブレットの用意、一人一台まではいきません がスポットクーラー供与など空調設備はないですが、できる限りのことはしていきたいと思います。
原材料の高騰や燃料価格等々、これからの物流や輸出入・何より人件費負担は思っているより個人も会社も負担が大きと思う。利益を追求するのが大証にかかわらず使命ははず。コロナを引きずり、銀行の返済で苦しんでいる事業主も多いと思う。お盆休暇も長い昨今、11日の山の日の祝日は必要かどうか。新潟はお盆の前に夏祭りがあり楽しみにしています。
政策金利の引き上げ観測が強まるなか、設備投資や個人消費の減速による景気への影響を懸念しています。食料品消費税率の時限的引き下げによる 税収減が、将来的な財政負担増につながることへの不安があります。加えて、最低賃金が58円引き上げられ1,108円となることで、人件費負担が増 加することから、人材確保と収益確保の両立が課題となっています。
卸売業
公共工事資材商い、ここに来て引合い多なるも勢いが乏しい。
小売業
御盆・帰省客の対応とした手土産ギフトを中心に食品フロア及びイベント催事場の全館応援体制を強化する。
メーカーからの相次ぐ値上げと仕切り価格のアップと利益が圧縮されると思われる。
政府がアメリカと協力して円高方向に舵を切っていますが、仮に円安が 200円代になった場合、輸出企業の業績が良くなり、海外生産を辞めて 国内に戻ってくるようになれば、雇用が増えて人口増加になるようなシミュレーションをしている方はいないでしょうか？そんな単純な話ではないと 思いますが、夢はあるような話が欲しいですね！妄想かもしれませんが考えてしまいました。
地政学リスクの影響により、エンジンオイルや塗料の供給不足が依然続いており、お客さまにお待ちいただくケースが増えてきている。
仕入れコストの上昇により、採算が悪化。コスト上昇分の価格転換まで実施出来ていない状況。猛暑による購買意欲の低下が売上低下の一因と考 察。
中東情勢に伴う、紙類等の日用消耗品のまとめ買い需要は落ち着きを見せて参りましたが、依然として建築資材等については価格高騰や供給の懸念 から需要の高い状況が続いております。エアコン2027年問題に伴う駆け込み需要の他、熊本での震災と9/1の防災の日も控えていることから、今後 しばらくは防災需要の高まりが想定されます。地域のインフラとして、供給責任を果たすべく取り組んでまいります。
サービス業
夏季イベント開催に伴うセキュリティ受注が見込め売上アップが期待できる。
日本ビルコン新潟㈱から北越支社に変更しています。
新潟県Go to Eat食事券、新潟市デジタル商品券などの事業により消費が上振れすることで活発化している。
日米による円買いの為替介入が実施されたことを機に、輸入品などの価格低下が長期にわたることを期待したい
また、グローバル規模での流通機構の回復を齎すためには、原因となっている中東戦争の一日も早い終結を待ち望むところです
収入は順調に伸びているが、コスト増の影響で採算については中々向上しない。人員不足も相まって厳しい状況が続くものと思われる。
8月は夏季休暇の取得を推進しているため、派遣要員分の売上は例月と比べると落ち込む傾向にある。